



# 本丸だより

令和5年度 第7号 令和5年11月2日(木)

新発田市立本丸中学校

新発田市緑町2-7-22

TEL 0254-22-2525

FAX 0254-22-0342

<https://honmaru.shibata.ed.jp/>



本丸中学校ホームページ  
本丸中学校ホームページ  
本丸中学校ホームページ



## 幸せへのハドル ～ つながりの力 ～

校長 三浦 学

10月30日、合唱コンクールを市民文化会館で開催することができました。学年閉鎖などを乗り越えての開催に当たり、保護の皆様、地域、特にボランティアの皆様の皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。全校朝会で次のような話(抜粋)をしました。

合唱コンクール、本当におつかれさまでした。特に3年生の合唱のすばらしさは、さすが3年生というレベルの高さでした。インフルエンザの大変さを乗り越え、2年生、1年生の皆さんも学年閉鎖の影響を感じさせない合唱でした。どのクラスも前向きに、仲間と一緒に唱えることを喜び、自分たちができうる最高の歌声、人の心をふるわせる歌声を響かせてくれました。

練習を思うようにできなかった不安などネガティブな状況を受け止め、受け入れて、一緒に唱えるだけでも嬉しいと前向きに考え、クラスみんなで一緒になって、一丸となって、価値ある合唱コンクールを創り上げてくれました。そんな皆さんに心より敬意を表します。

さて、皆さんは“円陣”、肩を組んで丸くなる、あの円陣は、何のためにやると思いますか？

ラグビー日本代表キャプテンの姫野和樹さんは、「勝利するために必要な大切な行動」なんだと言います。円陣を組むのはチームの仲間と「つながる」ため。チーム全員が同じ目標に向かって集中し、みんなが勝つために何をすべきか、同じイメージをもつ。自分がすべきことが、全員見えていて同じ方向に向かって戦える。だから強い。全員がつながることができていれば、チーム力は120%にも150%にもなる、と姫野さんは言います。

合唱コンクールでの皆さんは、まさにクラスの仲間とつながっていました。クラスの仲間と一緒に唱えることに喜びを感じ、みんながつながっていました。だからこそ聴く人の心に響く合唱を創り出すことができたのだと思います。

みんなの「つながりの力」で、インフルエンザなど多くの困難を乗り越え、またひとつ成長することができました。本当に幸せなことだと思います。

大きな行事はこれで全て結びとなりました。3年生は行事をやりきった自信をもって、受験に正面きって向き合う、集中していく時期になりました。「受験は団体戦」といわれます。受験に向けて、合唱コンクールで深めた「つながり」でチーム力を高め、みんなで向かっていき、みんなで伸びていってほしいと思います。定期テストも同じです。2年生、1年生の皆さんの定期テスト、部活動への取組も同じです。

冬が近づいてきて、受験やテストや部活でも、さまざまな悩み、苦しみがあると思います。そんなとき、合唱コンクールや体育祭、部活動、勉強などで高めてきた「つながり」、チーム力を生かしながら、みんなで、いいクラス、いいチーム、いい本丸中学校で、乗り越えていきましょう。

ラグビーワールドカップは先日決勝戦が行われました。ラグビーでは円陣のことを“ハドル”と呼ぶのだそうです。姫野和樹さんは上記のように述べ、ハドルを組んで、「つながる」ことの大切さ、必要なことを説きます。(参考図書(全校朝会も)『姫野ノート「弱さ」と闘う53の言葉』。)

前野隆司教授は、「幸せの4因子」のうちの一つ「ありがとう！」因子を、「つながりと感謝」の因子だと言います。「つながり」が幸せ、ウェルビーイングの向上につながると言うのです。保護者、ご家族、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

